

自らの学びを調整する生活科・理科・生活単元学習

～対話して学ぶ場の工夫と児童の自己評価の活用を通して～

2023年7月28日

福岡市立香椎東小学校

発表者 岩田 謙人

1. 目指す子ども像について

- ・自らの学びを調整する児童とは、


考えの見通し（予想や仮説）と学び方の見通し（学習計画）を持ち、他者との関わりを通して思考を深めるとともに、常に自己の学習状況を振り返りながら問題解決を図る児童

2. 研究内容①「対話して学ぶ場の工夫」について

- ・対話して学ぶ場の工夫とは

「発見の場」「予見の場」「追求の場」「共有の場」の4つの対話を行いながら学ぶ場を設定し、教材・教具や学習ツール、集団構成などの視点で学習環境を作ること。

- ・4つの「対話して学ぶ場」について

<p>I 発見の場 学習問題の把握・設定に向けて、事象との出会いを通じた気づきを出し合う場</p> <p>【発見の場における対話】</p> <ul style="list-style-type: none">①事象に対する気づきを出し合う拡散的な対話②気づきを焦点化し問題設定につなげる対話 	<p>II 予見の場 より妥当な予想・仮説や検証計画の立案ができるように話し合う場</p> <p>【予見の場における対話】</p> <ul style="list-style-type: none">③自らの考えを見直すことを促す同質グループでの対話④個人の考えを共有する学級全体での対話 
<p>III 追求の場 検証計画や活動の見通しに沿って協働的に観察・実験活動を行う場</p> <p>【追求の場における対話】</p> <ul style="list-style-type: none">⑤手順を確認しながら実験を進めるグループでの対話⑥次にどんな活動を行うべきかを決定するグループでの対話 	<p>IV 共有の場 より妥当な考えを作ることができるよう、学習成果を共有しながら話し合う場</p> <p>【共有の場における対話】</p> <ul style="list-style-type: none">⑦合意形成を図り、より妥当な考えをつくるためのグループや全体での対話 

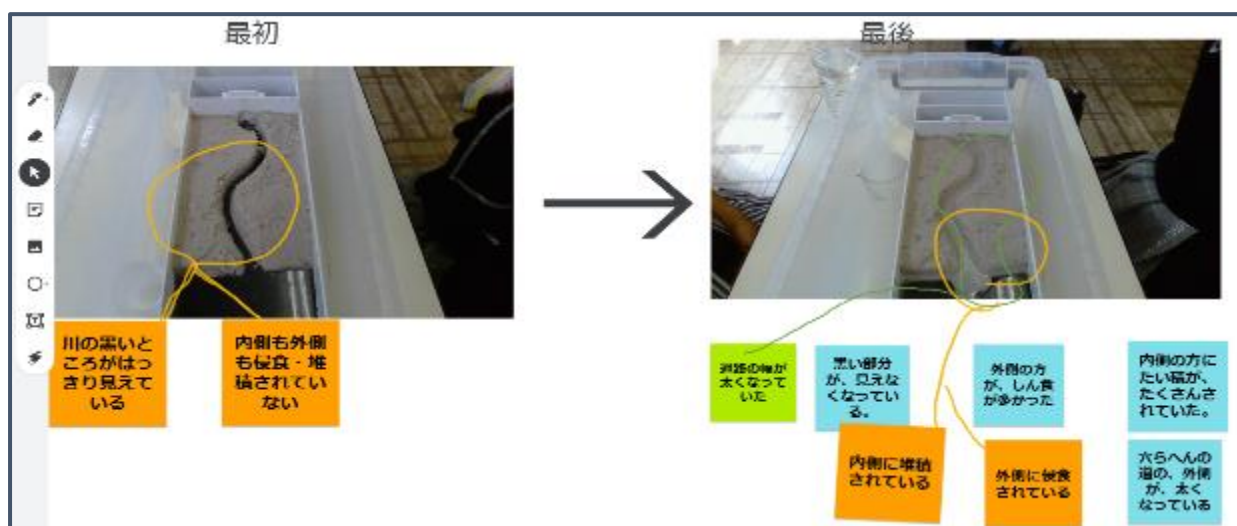
- ・発見の場において、学習問題を設定した後の A 児の振り返り

振り返り

筑後川がはんらんして道路が半分流されていたことや、やかたぶねがしずんでいくことが恐ろしいと思い、流れる水は、それほどの、力があるのだとおもいました。筑後川は、ながいので被害はおおいだろうとおもいました。次から水害から被害をふせぐために考えていきたいです。

水害による被害はとても大きく、それほど流れる水の力がすごいということに気が付いたのですね。素晴らしいです。次からはどうしたら防げるか考えていきましょう。

- ・Google ジャムボードを用いて、協働的に妥当な考えをつくる対話



3. 研究内容②「児童の自己評価の活用」について

- ・児童の自己評価の活用とは

自己評価項目を設定し、問題解決のサイクルの最後に児童が自らの学習状況を評価することである。また、教師が形成的評価を行うことでフィードバック及びフィードフォワードを与える。

- ・考察のルーブリック

4	3	2	1
<p>自分の予想を振り返り、実験・観察の結果から自然の変化や原因、規則性、関係などを様々な視点から分析し、考察している。</p> <p>自分の考えを科学的なものに変化させている。</p>	<p>自分の予想を振り返り、実験・観察の結果あから自然の変化や原因、規則性などを様々な点から分析し、考察している。</p>	<p>自分の予想を振り返り、実験・観察の結果から分かることを考察している。</p>	<p>実験・観察の結果から分かることを考察している。</p>

- ・振り返りの視点の提示

【振り返りの視点】

- ・学んだこと(学習内容、学習方法)
- ・次の時間に取り組みたいこと
- ・疑問に思ったことやもっとしらべたいこと

- ・「振り返りの視点」に沿って表現することができている B 児の振り返り

振り返り

- ・水の量を増やすと流れる水の動きが大きくなることが分かった。前回「侵食した土などは海に流れ着くことはあるのか、また海に流れ着くとどこに行くのか」と疑問に思っていたが、もし、流れ着くのならば、流れ着くスピードも早くなるのではないかと疑問に思った。
- ・次は、どうしたら水害の被害を最小限に減らせるのか考えたい。

流れつく先はやはり海なのでしょうね。川の流れを意識して考えることができますね。水害を防ぐ工夫も考えていきましょう。

- ・形成的評価を与える

形成的評価の目的	コメントの例
目標達成に向けて導く・軌道修正させる	〇〇についてどう考えたかも書けるといいですね。
自らの学びを自覚させる	〇〇ということを関係づけて考察を考えることができているいいですね。
学んだこと(学習内容)を価値づける	〇〇を調べることで△△が分かったのでですね。
学びのプロセス(学び方)を価値づける	友達の考えと比べながら学びを深めることができましたね。

・形成的評価によって変化した C 児の振り返りの変化

《振り返り》

今回の実験で川のはばが広くなり、砂を運ぶということがわかりました
そして、砂を運ぶから筑後川は茶色になっているんだなと思いました

水が増えた時に川の色が茶色になっているのは砂などを運んでいるからなのですね。いい点に気が付きましたね。学び方について（話し合いや実験の仕方など）も振り返ることができるといいですね。



《振り返り》

今日は、予想を見ながら実験したり友達と一緒に考えたりしたから、よくわかった。そして、けずられるのは内側ではなく外側ということが分かった。災害が来たときは、流れがゆっくりな内側に行けばいいと思った。

次は、くねくね道で水の量を増やしてやってみたい。

予想を振り返りながら友達と学びを深めることができたのは素晴らしいですね。しっかりと自分の学びを振り返れていていいですね。

・単元末に学んだ価値を実感する D 児の振り返り

全体の振り返り

侵食、運搬、堆積を知って条件を変えて実験をすることで、洪水や川につなげて考えることができました。自分の予想を持ち、友達の予想をしっかりと聞くことで学びが深まることが分かりました。また、一つの条件を変えて実験することを意識することで、学習を深めることができました。今度の学習でも生かせたりすることができると思います。この学習を通して洪水の被害を減らす取り組みや流れる水のはたらきを知ることができたので、洪水が起きたときは慌てずに対処できるようにこの学習を生かしたいです。でも、台風がきたときは大雨がふり、風が吹くので被害が出ると思うので、今度調べたいと思います。